

団体名	男女平等センター
設立年	2002 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 5 ホロー、ピクトリーセンター4 階 404 号室
電話番号	976-11-311 512
E-mail	gendereqcen@magicnet.mn ; mongoliangenderequalitycenter@gmail.com
URL/Facebook	Mongolian Gender Equality Center/ Хүйсийн тэгш эрхийн төв
代表者名	G. ガンバヤスガフ
活動内容	<p>男女平等センターは、ジェンダーに基づく暴力防止の多方面の活動を行っている NGO です。同センターは被害者保護、予防、啓発活動の 3 つのプログラムを行っています。</p> <p>私たちは 2002 年 1 月 4 日の設立以来、性暴力、強姦事件の被害者を対象とした支援サービス、被害者支援活動を 2003 年から、母国に安全をもたらし、初期段階の援助支援を行い、社会復帰させるリハビリ活動を 2007 年から、人身売買事件の予防目的で 24 時間体制の 1903 電話サービスを 2006 年からそれぞれ行っています。</p> <p>これまでに総勢 2000 名近くに支援を行ったうちの 742 名(2019 年 3 月 31 日)は人身売買の被害者、189 名は強姦・性暴力被害者の子どもたちでした。被害者の 73%が女性、11%が子ども、70%が性的搾取、25.8%が労働搾取の被害者で、そのうちの 2 人に 1 人が中国で、4 人に 1 人がモンゴル国内で売買されました。海外 9 カ国から 286 名の被害者をモンゴルに帰還させ、外国人 8 名を母国に帰還させるのを支援しました。</p> <p>同センターはウランバートル市とザミンウードに保護施設を有し、被害者を 1 日から 3 か月まで保護することができます。2007 年以降、ウランバートル市の施設で 361 名、ザミンウードの施設で 164 名を保護しました。</p> <p>警察機関に 424 名の被害者の 232 件の事件について届け、裁判で 129 名の被害者の 47 件の事件の弁護支援を行い解決しました。</p> <p>同センターは、電話サービスにかかってきた 9,642 件の電話に情報やアドバイスを行い、暴力、人身売買の被害者 2,000 名近くに保護サービスを行い、100 名近くの被害者と 40 件近くの事件を裁判で解決しました。</p> <p>2002 年以降、男女平等センターは法律機関の職員、NGO、専門家など 250,000 名近くに約 200 回の研修を開催しました。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	

団体名	トゥゲーマル権利開発 NGO
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、若者通り 9-B01
Утасны дугаар	976-99088306
E-mail	saruul@urdinstitute.com
URL/Facebook	www.urdinstitute.com
代表者名	T. サロール
活動内容	<p>トゥゲーマル権利開発NGOは、2014年に人権についての研究を行う法律家、研究者の提唱によって設立されました。</p> <p>団体の目的は、人権、自由、民主主義の自由な社会の価値原則を尊重し、人権の確立、保護、法的価値強化に貢献することです。私たちは非従属的な研究、研修、国際会議開催、顧問サービス、社会の権益保護に戦略的弁護を行う専門的研究所になる目的で活動しています。</p> <p>私たちの活動のもう一つの特徴は、芸術文化を通じて人権の啓発活動を行うことです。</p>
日本・各国との協力状況	<p>トゥゲーマル権利開発 NGO は設立以来、海外の法律、人権分野で年に 1 回以上国内外の会議、啓発活動を主催してきました。下記に記したのは、私たちが主催した学術研究会議、シンポジウム、セミナーの年ごとのリストです。</p>

JICA との協力状況	<p>2014</p> <ul style="list-style-type: none"> • Seminar on Free Trade Agreement Guests: Prof. Yasukhei Taniguchi (Tokyo University) Prof. Yasukhei Taniguchi (Kyoto University) Co Host: National Legal Institute of Mongolia • Seminar on Human Rights Approach to Save the Natural Environment Guests: Prof. Diana Shelton (Jorj Washington University) Co Host: National Legal Institute of Mongolia • Seminar on Human Rights Development: Role of Korean Constitutional Court Guest: Prof. Kyong Wahn Ahn (Seoul National University) Co Host: Judicial General Council of Mongolia, Human Rights Commission of Mongolia, Open Society Forum. <p>2016</p> <ul style="list-style-type: none"> • International Symposium on Interaction Between Court and Arbitration Guests: Prof. Yasukhei Taniguchi, Prof. Philip Jimenez Co Host: Judicial General Council of Mongolia, National and International Arbitration of Mongolia, Graduate University of Mongolia <p>2017</p> <ul style="list-style-type: none"> • International Symposium on Freedom of Speech on the occasion of the 70th anniversary of the Universal Declaration of Human Rights • Guests: Philip Jimenez (Santa Clara University); Yasuhei Taniguchi (Kyoto University); Kyong Whan Ahn (Seoul National University/SNU); Etsuo Doi (Foley & Lardner LLP); Sang Jo Jong (SNU) • Co Host: HR Commission of Mongolia; Mongolian Bar Association; Globe International Centre; • Seminar on Immigrants' Rights • Guest: Mr. Marcus Kozin (Immigrants' Rights Specialist USA, Japan) • Co-host: Mongolia Immigration Agency, Graduate University of Mongolia • Eco Women National Summit 2019 Co Host: In cooperation with 4 local NGOs International Symposium on Water Rights-Human Rights Guests: Environmentalists, human rights activists and artists from 8 countries Co Host: Human Rights Commission of Mongolia • "Save Khuvsgul" Multi Lateral Discussion. Co Host: Khuvsgul Dalai Eej Society, Khatgal Community Association in Ulaanbaatar Guests: ADB, NUM professors, Tourism and Environment issue related specialists and NGOs • Eco Women National Summit 2021 Co-Host: National Gender Committee Guests: 8 Guest speakers who are young eco-influencers and online platform participants <p>2021</p>
-------------	---





団体名	ボランティア開発センター
設立年	2009 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、ハブイノベーションセンター2 階
電話番号	976-99019645, 976-70117085
E-mail	vdcenter.ngo@gmail.com ; byambabat@vdc.org.mn
URL/Facebook	https://www.facebook.com/VolunteerDevelopmentCenter
代表者名	M. ビャンババト
活動内容	<p>若者のボランティア参加を支援し、社会の発展に貢献するのが目的です。</p> <p>主な活動内容；</p> <ul style="list-style-type: none"> - ボランティア育成 - 社会に効果的なボランティア活動を主催する - 社会にボランティア活動を広報・紹介する - 社会向け活動を行っている団体とボランティアメンバーを結びつける - 旅行しながらボランティア活動を行うプログラムを実施する - ボランティアの交流事業開催
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	







団体名	心理学国家センター
設立年	2010年
住所	ウランバートル市スフバートル区第1ホロー、ビジネスプラザ5階505号室
電話番号	976-77324233
E-mail	psychology.npc@gmail.com
URL/Facebook	https://www.facebook.com/NationalPsychologyCenter
設立者名	B. ウーガンツェツェグ
活動内容	<p>心理学国家センターは心理科学を発展させ、啓発し、日常生活で普及させるなどの目的で活動を継続的に行っている専門団体の1つです。同センターは理論と実践を組み合わせ、個人、子ども、家族、団体に心理学的サービスを行っています。心理学的な個別及びグループのカウンセリング、心理学セミナー、啓発活動を行っています。</p> <p>社会の心理学教育向けに心理学の書籍、専門家向けの手引きを作成し、届けています。</p>
日本・各国との協力状況	World vision、Good neighbors、カリタス・モンゴルNGO、ドイツの協力協会GIZと協力しています。心理学カウンセリング、心理学セミナー、プログラムを共同実施しています。
JICAとの協力状況	JICAとセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが共同実施している「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」の「ポジティブ・ディシプリン」セミナー共同実施団体



Good neighbors 国際機関と共同で顧問専門家らが「カウンセリング能力」セミナーに参加し、証明書を授与しました。(2017年ウランバートル市にて)



World Vison 国際機関と共同で「両親としての知恵」講義を段階的に開催しました。ウランバートル市、バヤンウルギー県、ザブハン県、ヘンティー県にて2017年。



家族ラジオと共同で、心理学の知識情報を家庭に与える活動を2010年から継続的に行っています。



私たちのチーム、職員は社会的心理学教育向を啓発するために、テレビ番組に継続的に出演しています。

Podcast

Moin Moin
Mongolia

**Өсвөр үеийнхэний
сэтгэл зүй болон
эцэг эхчүүддээ хүргэх
зөвөлгөө**

❖ Өсвөр насны хүүхдийн
сэтгэл зүйн онцлог

❖ Сэтгэл гутрал болон үүнийг
хэрхэн даван туулах вэ?

❖ Эцэг эхчүүд хүүхдүүдийнхээ
хэрхэн сайн найз нь байх вэ?

**Зочин: "Сэтгэл судлалын
үндэсний төв"-ийн
Сэтгэл судлаач: Г.Отгонцэцэг**




思春期の子どもたちの心理学教育を向上させることを重要視しています。

Hosted by:  Partnered with:  

СЭТГЭЛ ЗҮЙН МИНИ ФОРУМ



Стресс менежмент
Б.Ууганцэцэг



**Харилцаагаа удирдаж
EQ-дээ анхаарья**
Б.Энхбаяр



**Гэр бүлийн
сэтгэл зүй**
Г.Наранбаатар



**Шинэ мянганы ажлын
байрны сэтгэл зүй**
Ц.Энхжаргал



**Хүүхдийн сэтгэл
зүйн онцлог**
Ц.Нямцэцэг



**Өсвөр насны хүүхдийн
нийгмийн харилцааны
онцлог**
Г.Отгонцэцэг



**Залуусын
сэтгэл зүй
(19-25 нас)**
Б.Энхлэн



**Сэтгэл зүйн
аппликэйшн**
Б.Батжаргал

🕒 2021 оны 11 сарын 27, Бямба гараг, 10:30 - 13:00 цагт

📍 Сөүл Бизнес Төв, 3 давхар, #Mstars Hub (Чингис зочид буудлын ард)

団体名	ウブディス心理学センター
設立年	2003 年
住所	ウランバートル市ハンウール区第 1 ホロー、15 番棟 4 号室
電話番号	976-95863958
E-mail	uvdiscenter@gmail.com
URL/Facebook	Ariunaa Uvdis
代表者名	I. アリウナー
活動内容	<p>目的；国民と障害者に心理学的総合サービスを行うことで、彼らの生活の質を向上させることが目的です。</p> <p>活動内容；</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学的サービス、メンタルケア、精神診断を行う 2. 就労支援 3. 社会の多様な課題について研修セミナーを開催する <ol style="list-style-type: none"> a. 心理学教育 b. 保健教育 c. 音楽教育 d. ビジネス実業家教育 等 4. 支援グループ活動 <p>当センターは設立以来、モンゴル国保健省、自然保護省、世界保健機関、労働福祉サービス局、Oyu-Tolgoi 社、世界自然保護基金等の機関と提携し、活動してきました。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	



団体名	イウェール・ツォグツ開発センター
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市ソングノハイルハン区第 31 ホロー、ハイルハン 5
電話番号	976-89985394, 976-99777261
E-mail	dmdora_7@yahoo.com
URL/Facebook	Holistic Blessing Development NGO
代表者名	
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人開発セミナー 2. 心理学的カウンセリング、セミナー開催 3. 調査、研修プログラム作成 4. 案件プログラムの実施 5. 子ども、思春期世代、保護者向け研修プログラム開催 6. 障害者会員の介護者向け研修プログラム、カウンセリング
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	



団体名	モンゴル家族の幸せ協会
設立年	1994 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 3 ホロー、ピースタワー909 号
電話番号	976-70183514
E-mail	info@mfw.mn
URL/Facebook	www.mfwa.mn https://www.facebook.com/mfwa.mn
代表者名	B. ムンフツェツェグ
活動内容	<p>モンゴル家族の幸せ協会は 1994 年に設立され、県、郡に全 15 の支部、思春期世代向けの 10 のセンター、婦人科病院、ボランティアメンバー、若者たちを通じて、人々に性・生殖保健、権利についての教育と情報を与え、支援サービスを行う活動を行っている非営利、非宗教的、非政治的、非政府組織です。</p> <p>活動の基本方針:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 性と権利についての教育を行い、支援サービスを行うとともに政策、法的支援環境を整える 2, 思春期世代に性権利についての情報を与え、知識、能力を習得させる 3, 性について質の良い、総合的援助サービスを行う 4, ボランティア、メンバー、支援者による有能な人材を有し、責任ある団体
日本・各国との協力状況	<ol style="list-style-type: none"> 1, 国際家族計画連合（IPPF）加盟団体 2, 日本の協力機構（JOICFP）から自転車の寄付をいただき、地方、遠隔地の人々及び低所得者層の人々に供与しました。 3, ハンガリー、カザフスタンの家族計画協会、タイの人口開発協会、国際避妊基金などの機関と協力契約を締結し、活動しています。
JICA との協力状況	共同実施したプロジェクトはありませんが、2010 年以前に協会の 4 名の職員が JICA を通じて日本での課題別研修に参加しました。





団体名	モンゴル放射線医学協会
設立年	1995 年
住所	私書箱 34、支局 48、ウランバートル市 13374、モンゴル国
電話番号	976-99063486
E-mail	mongolia.radiology@gmail.com
URL/Facebook	https://www.facebook.com/The-Mongolian-Society-of-Radiology-100715675687736
代表者名	D. ゴンチグスレン
活動内容	<p>モンゴル放射線医学協会は 21 の支部、約 500 名の会員で活動を行っています。放射線技師専門試験及び研修医の卒後試験を自立的に行い、技師に専門性を与え、向上させるすべての研修に当協会の教授が参加しています。私たちの分野は、モンゴル放射線技師協会の活動を広め、画像診断設備の数、供給が増えていることに関連し、放射線技師の需要、知識教育の向上が不可欠になっています。</p> <p>活動分野:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像診断の研修、研究 • モンゴル放射線医学雑誌 • 会員の発達 • 卒後研修 • 国際協会と共同研修、協議会
日本・各国との協力状況	<p>次の団体と研修、共同協議、共同調査を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Asian Oceanian Society of Radiology • Japanese Society of Radiology • Korean Society of Radiology • Radiology Across Borders
JICA との協力状況	



コロナ画像診断オンラインセミナー講師陣

МОНГОЛЫН ДҮРС ОНОШИЛГООНЫ ЭМЧ НАРЫН
ҮНДЭСНИЙ ЧУУЛГАН - 2017



Корпорейт зочид буудал, Улаанбаатар хот
2017.09.15-17

モンゴル画像診断医国家フォーラム

KSR-MSR Virtual Friendship Symposium

November 20th(Saturday), 2021
9am - 1pm in Mongolia / 10am - 2pm (in Korea)



YUSUHN KANG
Seoul National University
Bundang Hospital



Prof. R. ASAI
National Cancer
Center of Mongolia



JUNG JOON-YONG
Seoul St. Mary's Hospital



B. ONONCHIMEG
Intermed Hospital,
Mongolia



EUN HAE PARK
Chonbuk National
University Hospital



HEE DONG CHAE
Seoul National
University Hospital



AHN KYUNG-SIK
Korea University
Anam Hospital



SUN JOO LEE
Ije University
Busan Paik Hospital



Registration

Organized by



Contacts:

Cellphone: +976-88103672
E-mail: mongolia.radiology@gmail.com

韓国・モンゴル放射線医学協会共同会議

団体名	モンゴル栄養士協会
設立年	2007 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、GB センター201 号室
電話番号	976-99123635, 976-99844021
E-mail	rem145e@must.edu.mn
URL/Facebook	https://www.facebook.com/MongolianNutritionSociety https://www.facebook.com/groups/1963398450647759
代表者名	G. エンフタイワン
活動内容	<p>同協会は、栄養学分野で活動している専門的 NGO で、人々の健康のもとである食事、栄養状態、食品供給、安全性について専門性を活かし、助言、援助、政策支援、協力などを行い、研修、学術研究、情報提供やカウンセリングなどを行い、国内外の関係を発展させるために、会員の活動と積極的提案を支援しています。</p> <p>栄養学分野の様々な活動を実施していて、主に幼稚園と学校の子どもたちの食事の質と栄養を改善し、人材能力強化を行っています。モンゴルで義務教育学校の調理サービスについての法律を提唱し、承認のために活動しています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>世界栄養科学連盟（IUNS）、アジア委員会の加盟団体です。</p> <p>The Japanese Society of Nutrition and Dietetics、British Nutrition Society、Chinese Nutrition Society、Korean Nutrition Society と MOU を締結しました。</p> <p>IUNS、FANS 専門の協力機関の活動を支援し、4 年ごとに大会議及びその他会議、協議会に継続的に参加しています。</p>
JICA との協力状況	モンゴル学校給食導入プロジェクト





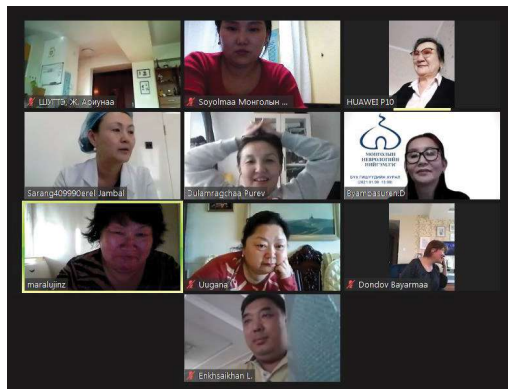
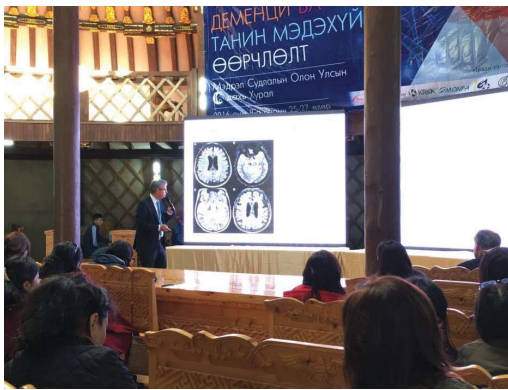
Prof G. Enkhtaivan and Prof Philip Calder,
President of British Nutrition Society,
2017



団体名	モンゴル神経学協会
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市教育大学交差点 UBH center3 階 315 号室
電話番号	976-99233332
E-mail	info@mongolianneurology.org
URL/Facebook	https://www.facebook.com/mongolianneurology/
代表者名	P. ソヨルマー
活動内容	<p>モンゴル神経学協会は、モンゴルの神経科医、教師、研究者らをまとめ、彼らの知識能力、協力を強化するために、研修、研究活動を主催しています。約 300 名の神経科医を含む会員で構成されています。</p> <p>私たちの目的：モンゴルの精神科医の知識、能力をひとつにし、国内外の医者との関係、協力を発展させるために、精神病支援サービスを改善し、モンゴルの保健分野の発展に貢献することを目的にしています。</p> <p>協会の基本活動方針：</p> <p>研修：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 四半期ごとの研修 ● 毎月行われる協議会 ● 毎年 INFO 神経学国際会議 ● 若い精神研究者向けの夏期・冬季集中講座 <p>プロジェクト：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トレーナー育成研修 ● 支援サービスの改善 ● 神経学専門学位授与試験 <p>出版：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 神経学モンゴル雑誌 ● ハンドブック <p>社会向けイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際てんかんの日 ● 世界脳内出血と闘う日 <p>国内活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選挙、会員会議 ● シニア専門医表敬 ● ウェブサイトなどオンラインによる情報提供 <p>国際交流：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共同学術研究、臨床研修 ● 経験共有視察 ● 若者の実習、研修 ● 患者の共同診察
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛媛大学睡眠健康センター ● ドイツの神経学協会 ● 韓国の神経学協会

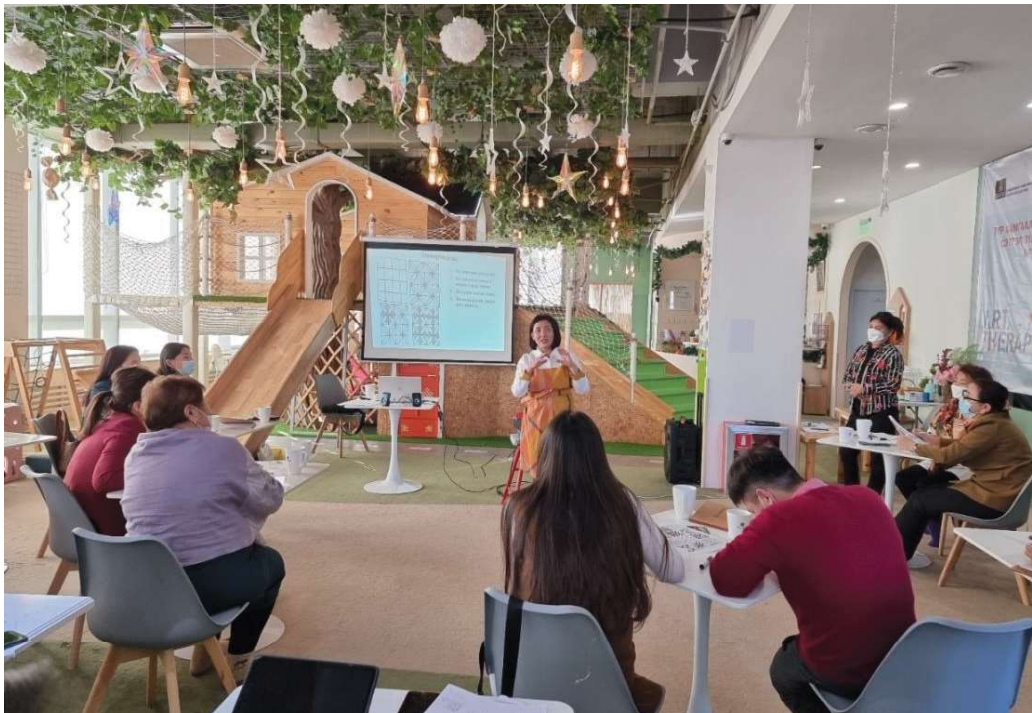
	<ul style="list-style-type: none"> • パーキンソン病、運動病理国際協会
JICA との協力状況	





団体名	モンゴルアートセラピー専門協会
設立年	2017年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第6ホロー、第13地区A-405
電話番号	976-99122858
E-mail	bereearththerapy@gmail.com
URL/Facebook	https://www.facebook.com/Mongolian-Professional-Art-Therapy-Association-458008187934323 http://arttherapy.mn/language/en/
代表者名	B. ベルツェツェグ
活動内容	<p>私たちの目的は、アートセラピー、芸術的心理療法サービスを国際専門スタンダード、道徳規範を固守し、全国的に普及させることです。</p> <p>アートセラピー研修、オンラインミーティングイベント、プロジェクトプログラム、アートセラピー専門管理を提供します。私たちは個人、家族、団体向けに活動を行っています。</p> <p>実施しているプロジェクト、プログラム：</p> <ul style="list-style-type: none"> * 地方、都市、区、地区の子ども保護専門家、ソーシャルワーカー、心理学者、法的監視機関、子どもの発達、保護分野で活動している政府及び非政府機関の職員に「アートセラピー研修」 * 思春期世代や児童虐待・育児放棄に遭った子どもたちの恐怖、脅威を取り除き、自分に自信を持たせ、乗り越える力をつけさせる「お助けモンゴル犬」アートセラピープログラム。 * いじめ、暴力の防止、予防、保護、対応サービスを行う「お助けモンゴル犬」アートセラピープロジェクト。プロジェクトで「同年代のトレーナー」育成、子ども同士で啓発する機会を与えます。また、子ども、両親、教師がひとつの理解であるための研修を開催します。 * カウンセリングチーム、新型コロナウイルスビデオ動画、プロジェクト、家族、団体、仲間にアドバイスをを行います。 * ポジティブ・ディシプリン研修を教師、両親に芸術に基づいた方法を使い開催しています。
日本・各国との協力状況	アートセラピー、芸術を通じた心理療法を行うアートセラピーを発展させるために、外国のアートセラピストと協力しています。
JICA との協力状況	







女の子「一人で寝るのは怖いよう、泣いちゃうよ」
お助けモンゴル犬「じゃ、一緒に遊ぼう」



女の子「わたしの一番いい友達だね。歯を磨いて、本を読んで、一緒に寝ようね」

団体名	モンゴル麻酔科医協会
設立年	2002 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 4 ホロー、バガタイロー、ゾースゴヨル・ビル 306 号室
電話番号	976-88081072
E-mail	khurelochirt@gmail.com
URL/Facebook	Mongolian Anaesthesia Group
代表者名	
活動内容	モンゴルの麻酔科医の権利を保護するボランティアの非政府組織で、専門分野で研修を開催し、専門性を向上させる活動を行っています。
日本・各国との協力状況	世界麻酔科医協会加盟
JICA との協力状況	

団体名	オルビス国際機関モンゴル支部
設立年	2021 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第3 ホロー、トゥグルドゥルオフィス 4 階
電話番号	976-99186985
E-mail	Chimgee.chuluunkhuu@orbis.org
URL/Facebook	
代表者名	Ch. チムゲー
活動内容	保健機関と共同で、子どもと成人の眼科支援サービス改善プロジェクトを実施しています。プロジェクトで医師、医療専門家の研修、病院へ設備提供、眼科支援サービス制度を改善する活動を行っています。
日本・各国との協力状況	オルビスの本部はアメリカのニューヨークにあり、オルビス国際機関のプロジェクト実施諸国と協力しています。
JICA との協力状況	





団体名	モンゴル看護師協会
設立年	1996 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区平和大通り 49
電話番号	976-99263317, 976-95221001, 976- 91910830
E-mail	Nyamsuranmna@gmail.com urnaa0830mna@yahoo.com
URL/Facebook	Монголын Сувилагчдын Нийгэмлэг
代表者名	D. ニヤムスレン
活動内容	<p>モンゴル看護師協会は、72 の支部、約 9,500 名の会員がひとつになり、会員の一般の権益を保護し、看護師の知識、教育、能力を向上させ、学術研究活動、創造的活動を支援し、社会の健康を発展させる目的で、活動を行っています。</p> <p>2000 年 5 月 26 日に初フォーラムで「看護師の宣誓」、「看護師が尊重する道理」を承認し発表しました。2001 年にスウェーデンに本部がある国際看護師協会に正式に加盟しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 全国的に 4 年ごとに会議、フォーラム、会合を開催しています。 -フォーラムを 2 年ごとに開催し、活動を明確にしています。 -国際看護師協会の呼びかけで、毎年 5 月 12 日の国際看護師の日に、看護師の声を政府に届け、創造的活動を支援し、看護師を表彰しています。 -毎年、国際看護学術研究会議を国内外の機関と共同開催しています。 -保健省、保健開発センター、JICA 及びその他国内外の関係機関と共同で、15 のテーマで看護師の短期・長期研修を講義室、職場、遠隔、オンライン形式で開催しています。 -韓国、日本、ドイツ、中国、ロシア、台湾などの国々と、経験共有のために看護師の知識専門を高めています。
日本・各国との協力状況	<p>「新人看護師」ハンドブックを出版し、35 の団体と看護師らに、全 10 回 800 名を対象に研修セミナーを開催しました。</p> <p>「高齢者介護」テーマで家庭保健センターを対象に医師、看護師研修を 100 名に行いました。</p> <p>「新人看護師研修」全 5 回の研修に 500 名を対象に開催しました。</p> <p>「母子応急処置サービス」研修を地方で開催しました。</p>

<p>JICA との協力状況</p>	<p>JICA 帰国研修員同窓会の支援のもと、「手の衛生」ハンドブックを出版し、80の保健機関に配布し、研修を開催しました。</p> <p>「新人看護師」ハンドブックを作成し、地区病院に配布し、研修を開催しました。</p> <p>「新型コロナウイルス監視と予防」書籍を地方、地区、中央病院に配布し、全8回の研修を開催しました。</p> <p>「新型コロナウイルスの監視と予防」11のテーマのビデオ動画を作成しました。更に現在は「医師及び看護師の卒後研修能力強化プロジェクト」と協力し、看護師の研修強化に取り組んでいます。</p> <div style="text-align: center;"> </div>
--------------------	---



「国際看護師の日」に「労働権利」のテーマで 1000 名の看護師フォーラム



モンゴル初の看護専門協会設立 20 周年記念行事



JICA モンゴル事務所の佐藤睦元所長による
 「看護師分野で実施しているプロジェクトの必要性、効果、今後の活動」セミナー





団体名	モンゴル助産師協会
設立年	2006年
住所	首都フレー産院内
電話番号	976-99165858
E-mail	mongolianmidwivesassociation@gmail.com davaasurenserdamba888@gmail.com
URL/Facebook	Монголын эх баригчдын нийгэмлэг
代表者名	S. ダワースレン
活動内容	<p>モンゴル助産師協会は、助産師の知識、専門能力を向上させ、専門学位を取得し、学術研究活動を広めるのに、専門的管理方法を提供し、助産師の権益を守り、助産技術の質と普及を改善し、家族計画、社会保障を発展させ、助産師の活動を活性化させるのに貢献する目的で活動している NGO です。</p> <p>モンゴル助産師協会は 21 の県、360 の郡、ウランバートル市の 9 つの地区で助産師の代表、約 1,000 名の会員がいる独立した NGO です。モンゴルで全 1067 名の助産師が働いていて、39.6%が郡の保健センター、郡内の病院、24.4%が総合病院、地区の保健センター、産院、15.3%が問い合わせセンターで助産サービスを行っています。</p>
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> 2010年に国際助産師協会の正式な加盟国になり、協力関係にあります。 <div data-bbox="805 1032 1102 1249" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> 日本看護師協会と2014年に提携を結び、2015年にTwinningプロジェクトを開始し、モンゴルの助産分野が直面している問題の1つである妊婦の肥満、巨大胎児の問題を注視し、「モンゴルにおける妊婦の肥満の現状」調査を2017、2018年に全国規模で行いました。 <p>日本助産師会の幹部、九州大学の博士、教授らと共同で上記研究の成果を紹介し、「妊娠期の肥満予防における助産師の介入」テーマで研修、協議会を3年連続で開催しました。</p> <p>このプロジェクトの一環で「妊娠期肥満予防」ハンドブック、パンフレットを作成・出版し、保健機関に配布しました。また携帯電話の「Happy Baby、Healthy Mom」アプリケーションを開発しました。</p> <div data-bbox="571 1659 1273 1827" data-label="Image"> </div>



- 2016~2018 年にフランスのサンテシュード NGO と「助産師の能力強化」プロジェクトで協力しました。
- 2019 年に国際ロータリー基金、日本の宜野湾ロータリー、横浜ロータリー、モンゴルのツール・ロータリークラブ、日本助産師協会と共同で「Happy birth & Happy baby」プロジェクトを実施し、「赤ちゃんの心臓、肺の蘇生処置」のトレーナー育成、助産師らの職場実習研修を開催しました。プロジェクトで全 110 名のトレーナー、重複数字で全 1450 名の助産師が「赤ちゃんの心臓、肺の蘇生処置」技能取得研修に参加しました。



	<ul style="list-style-type: none"> 2020～2021年に日本の東京助産師会と共同で、コロナ禍における日本・モンゴルの「新しい生活を迎える文化」を支援し、助産師の産科サービスと専門教育を向上させるために、共同プロジェクトを実施しています。このプロジェクトの目的は、モンゴル助産師協会と日本助産師会の協力を通じて、モンゴル・日本の助産支援サービスの現状を盛り込んだビデオ動画を作成し、ビデオ動画に基づいたオンライン協議を行い、両国の文化の違いを相互理解すること、助産支援サービスの質を高め、助産師と助産師専門で学んでいる学生たちの教育に貢献することです。    
<p>JICA との協力状況</p>	<p>同協会は 2022 年から JICA の「医師と看護師の卒後研修強化プロジェクト」で協力することが決まっており、2021 年 12 月 16 日に「助産師の私たちに直面している問題、助産師の未来を見る」テーマで協議会を開催しました。</p>   

団体名	レインボーチルドレン
設立年	2021 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 1 ホロー、太陽通り 60-84
電話番号	976-99010190
E-mail	Info@rainbow-children.mn
URL/Facebook	www.rainbow-children.mn https://www.facebook.com/MongolianMaternityMark
代表者名	M. バヤルジャルガル
活動内容	<p>レインボーチルドレンの基本目的は、母と子どもの健康促進と、母と子どもに優しい環境づくりに貢献することです。</p> <p>活動内容；</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マタニティマークモンゴル版を普及させるために、情報、広報活動を行う。 2. 妊産婦と思春期の子どもたちのメンタルケアを目的とした心理カウンセリング、相談活動。
日本・各国との協力状況	International Community Club www.icc-npo.com
JICA との協力状況	



第5章 関連機関連絡先

モンゴル国家登録局

住所：ウランバートル市スフバートル区第11ホロー警察ストリート

電話：976—1800—1890

E-mail：contact@burtgel.gov.mn

就業時間：月～金 8：30～17：30（昼休み12：30～13：30）

大蔵省

住所：ウランバートル15160、S. Danzan ストリート政府第2棟

電話：51-267468

FAX：51-267468

法務・内務省

住所：ウランバートル市チンゲルテイ区 B. Shirendev ストリート8/4 政府第5棟

電話：976-51-267533

FAX：976-51-267533

E-mail：info@mojha.gov.mn

外務省

住所：ウランバートル14210、平和大通り7A

電話：976-70082222

FAX：976-11-322127

E-mail：info@mfa.gov.mn

外国人管理局

住所：ウランバートル市ハンウール区第21ホローボヤントオハー

電話：976-1800-1882

FAX：976-7013-3458

E-mail：visasection@immigration.gov.mn

HP：immigration.gov.mn

在モンゴル日本国大使館

私書箱：Embassy of Japan in Mongolia

Elchingiin gudamj10, Ulaanbaatar14210

Central P. O. Box1011

電話：976-11-320777

E-mail：protocol-section@ul.mofa.go.jp

JICA モンゴル事務所

住所：ウランバートル市スフバートル区3ボディタワー7階

私書箱：Central P.O.Box682, Ulaanbaatar15160, MONGOLIA

電話：976-11-312393, 311329

FAX：976-11-310845

E-mail：mg_oso_rep@jica.go.jp

Web：www.jica.go.jp/Mongolia/index.html

FB：JICA Mongolia

YouTube：JICA Mongolia-YouTube

在日モンゴル国大使館

住所：〒150-0047 東京都渋谷区神山町21-4

電話：03-3469-2088

FAX：03-3469-2216

E-mail：tokyo@mfa.gov.mn

第6章 モンゴルにおける草の根技術協力案件一覧

モンゴル国における草の根技術協力事業実績（2022年2月時点）

草の根協力支援型			
No	実施期間	案件名	実施団体
1	2022年3月～2025年3月	二つのモデル公立学校を対象にした学校歯科検診の仕組みプロジェクト	特定非営利活動法人健康都市活動支援機構
2	2021年5月～2023年2月	モンゴルにおける牧草飼料生産にかかる農作業請負組織化促進事業	十勝農業機械協議会
3	2018年7月～2020年12月	モンゴル国における妊婦健康管理に関する指導能力及び助産技術強化プロジェクト	医療法人葵鐘会
4	2017年10月～2019年5月	モンゴル国乳幼児のむし歯予防	徳島モンゴル医療交流協会
5	2016年9月～2019年8月	モンゴル障害児療育・教育支援及び療育関係者の育成事業	特定非営利活動法人ニンジン
6	2015年8月～2018年8月	モンゴル国ダルハンオール県における生活習慣病に対する保健・医療改善事業	社会福祉法人水戸済生会総合病院
7	2013年11月～2015年9月	モンゴル国寒冷地における建設工事の安全施工管理技術の向上プロジェクト	一般財団法人北海道建設技術センター、一般社団法人北海道建設業協会
8	2014年1月～2016年3月	先天性股関節脱臼ハイリスク児の育児指導	公立大学法人札幌市立大学
9	2011年6月～2014年5月	ウランバートル市における野菜栽培によるゲル地区住民の生活改善プロジェクト	埼玉大学
10	2011年6月～2013年9月	モンゴル国バヤンホンゴル県における農業自給体制の実現をめざす農業指導者の育成事業	特定非営利活動法人農業塾風のがっこう
11	2009年10月～2011年3月	日本伝統治療（柔道整復術）普及事業	社団法人東京柔道接骨師会
12	2009年6月～2012年3月	モンゴルの羊毛を活用した手編み物生産に関する技術支援プロジェクト	仙台いぐね研究会

13	2008年9月～2011年8月	モンゴル国・バガノール区住民による植林事業及びエコロジー学習の自立運営体制の構築	東アジア環境協働行動よこはま
14	2004年12月～2006年11月	バガヌール区生活環境整備(生活道路の舗装)	一般社団法人国際建設技術協会
15	2004年5月～2005年3月	バガヌール地区振興の為に野菜栽培と栄養改善事業	特定非営利活動法人日本モンゴル農業交流協会
16	2003年10月～2004年9月	モンゴル国一村一品運動地域活性化推進事業	財団法人大分県国際交流センター

草の根パートナー型			
No	実施期間	案件名	実施団体
1	2020年10月～2025年10月	新ブランド作物(玉ねぎ)による農家の収入向上—フードバリューチェーンの構築—	一般社団法人滝川国際交流協会
2	2019年3月～2021年12月	地方での生計維持を目指した養蜂振興プロジェクト	公益社団法人国際農林業協働協会
3	2018年9月～2022年8月	モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
4	2018年8月～2023年2月	モンゴルにおける地方小学校教員の質の向上—地域性に即したICTを活用した教材開発を通じて	国立大学法人東京工業大学
5	2017年10月～2022年9月	モンゴル・ホブド県における地球環境変動に伴う大規模自然災害への防災啓発プロジェクト	国立大学法人東海国立大学機構(国立大学法人名古屋大学)
6	2017年7月～2019年5月	モンゴル介護人材育成プロジェクト	特定非営利活動法人ワークフェア
7	2015年9月～2019年8月	思春期からの健康なライフスタイル構築のための持続可能な仕組みづくりプロジェクト—性感染症と不適切な妊娠を予防し、豊かな自己実現をめざして—	学校法人自治医科大学
8	2015年4月～2018年4月	養蜂振興による所得向上プロジェクト	公益社団法人国際

		ト	農林業協働協会
9	2015年5月～2018年4月	モンゴルにおける要保護児童支援制度の改善および強化支援事業	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
10	2012年3月～2017年3月	モンゴルにおける地方小学校教員の質の向上—地域性に即したICTを活用した教材開発を通じて	東京工業大学
11	2011年9月～2016年8月	日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクト	公益社団法人日本柔道整復師会
12	2008年10月～2011年9月	子どもの権利実現のための暴力のない公平な教育環境推進事業	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
13	2007年12月～2010年12月 2011年3月～2013年3月	雇用機会を創出するための住民参加型生活道路整備の技術移転事業 フォローアップ:ゲル地区住民による生活道路整備事業の自立事業化支援事業	社団法人国際建設技術協会
14	2008年1月～2010年12月 2011年1月～2012年12月	ボルガン県ボルガン市第3地区における「母と子のための」地域ぐるみ健康町づくりプロジェクト フォローアップ:ボルガン県ボルガン市第3地区における「母と子のための」地域ぐるみ健康町づくりプロジェクト	公益財団法人国際看護交流協会
15	2006年2月～2009年1月	モンゴル国獣医サービス提供システム再構築プロジェクト	有限会社アイエムジー

地域活性型			
No	実施期間	案件名	実施団体
1	実施前	路床の凍上性に着目したモンゴル国ウランバートル市内における生活道路の質的向上に向けたプロジェクト	北見国際技術協力推進会議
2	2021年10月～2024年10月	東ゴビ砂漠における深穴方式による乾燥寒冷地緑化推進技術協力事業	特定非営利活動法人新潟県対外科学技術交流協会
3	2021年10月	モンゴル国ドルノゴビ県の官民連携	静岡県

	～2024年3月	による未処理污水改善プロジェクト	
4	2018年6月～2022年2月	塵肺症および石綿（アスベスト）曝露による呼吸器疾患の早期診断能力の向上プロジェクト	特定非営利活動法人総合遠隔医療支援機構
5	2016年12月～2019年11月	北海道滝川市発—地方農民の収入向上を目指したアグリビジネス振興プロジェクト（高付加価値作物の生産と新しい農産加工品開発）	一般社団法人滝川国際交流協会
6	2016年12月～2019年12月	モンゴル国生活習慣病予防と患者のセルフケア能力向上のための看護職人材育成事業	北見国際技術協力推進協議会
7	2016年1月～2018年12月	ウランバートル市送配水機能改善協力事業	公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター
8	2016年3月～2019年3月	農産物等の流通改善および土壌改良による農業者の収益向上事業	一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部
9	2015年11月～2018年3月	ドルノゴビ県の下水道運営能力向上プロジェクト	静岡県
10	2014年10月～2017年3月	寒冷地における道路工事の品質確保プロジェクト	旭川市国際交流委員会
11	2014年～（終了）	寒冷地における地域医療と保健衛生	北見国際技術協力推進会議（日赤北海道看護大学）
12	2014年12月～2017年3月	モンゴル国ウランバートル市地区排水技術協力事業	（特活）新潟県対外科学技術交流協会
13	2013年8月～2016年3月	ウランバートル消防技術支援事業	ウランバートル消防技術支援事業実行委員会
14	2014年1月～2016年12月	再生可能エネルギー（地中熱）省エネ施設園芸による野菜生産技術支援事業	空知エコ普及環づくり協議会
15	2014年2月～2017年1月	畜産糞尿利用による循環型農業の確立および環境保全事業	（株）エコ・エネルギーシステム
16	2014年2月～2016年6月	農産物の安定供給のための貯蔵技術	（一社）北海道中

		改善・普及プロジェクト	小企業家同友会と かち支部
17	2013年9月～2016年9月	サインシャンド工業団地緑化と自生種の苗木生産による地域振興協力事業	新潟県モンゴル緑化推進技術協力実行委員会
18	2013年6月～2016年3月	ウランバートル市植林技術支援事業	蒼いウランバートル技術支援実行委員会
19	2013年4月～2016年3月	ウランバートル市ゲル地区住民に対する地域保健活動のための看護職人材育成事業	北見国際技術協力推進会議
20	2011年6月～2014年3月	寒冷地における都市開発技術改善事業	旭川市国際交流委員会
21	2010年7月～2013年3月	新潟県・ウランバートル市道路排水計画技術協力事業	新潟県モンゴル技術協力推進実行委員会
22	2010年5月～2013年2月	モンゴル中央県・中央病院における人残布の健康管理向上プロジェクト～妊娠高血圧症候群の「予防」「発見」「治療」の技術移転～	鳥取県
23	2008年5月～2008年11月	牛乳及び乳製品製造技術の普及	南日本酪農協同株式会社
24	2007年4月～2008年3月	感染症のサーベイランスのための検査システムと情報の収集解析システムに関する研修	神奈川県衛生研究所
25	2007年8月～2008年12月	モンゴル国乾燥地緑化リーダー育成事業	NPO モンゴル緑化日本協会
26	2006年～（終了）	モンゴルの知的資源である新規乳酸菌の開発技術の普及	南日本酪農協同株式会社
27	2006年7月～2006年10月	モンゴル国・バヤンホンゴル県における地域活性化パイロット事業	NPO 法人・大分一村一品国際交流推進協会
28	2005年～（終了）	堆肥化施設管理・運営経理指導	鳥取県モンゴル中央県親善協会
29	2004年～（終了）	公害対策・環境保全に関する技術研修	福岡県保健環境研究所

30	2004年～（終了）	モンゴル中央県野菜生産指導及び堆肥生産技術・流通指導専門家派遣	鳥取県モンゴル中央県親善協会
31	2004年～（終了）	産業の変遷と地域振興	北見国際技術協力推進会議
32	2004年～（終了）	寒冷地における地域医療と保健衛生	北見国際技術協力推進会議
33	2004年3月～2005年1月	内科・産婦人科診断技術	鳥取県
34	2003年～（終了）	堆肥生産技術および野菜生産技術専門家派遣	鳥取県モンゴル中央県親善協会

出典：[国別事業一覧【モンゴル】](#) | [市民参加](#) | [事業・プロジェクト - JICA](#)